

# ねこ



えほんいろいろ No.171

2026年3月 富田林市立図書館

## 『ねこ・こども』

佐々木 マキ／著  
福音館書店(2016年)



ねこ→こども→もうふ→ふね。ねことおとこのこがふねにのって、しりとりといっしょにたびにでかけます。さいしょはうみ。そしてまちへ、つぎにちかへ。さて、やっぱりさいごは「ん」でおわってしまうのかな？それとも…。それはよんでのおたのしみですね。

## 『ちいさなねこ』

石井 桃子／さく  
横内 襄／え  
福音館書店  
(1967年)



ちいさなねこがひとりでおでかけします。こどもにつかまったり、じどうしゃにひかれそうになったり、そとはきけんがいっぱい。さらにおおきなぬにおいかけられ、とうきのうえにのぼります。しんぱいになったおかあさんねこはこねこをさがしにいきます。

## 『ねこといぬとたからの玉』 (かんこく・ちょうせんのみんわ)

藤 かおる／文  
梶山 俊夫／絵  
太平出版社(2001年)



金<sup>きん</sup>の魚<sup>さかな</sup>をたすけたおじいさんは、おれいにねがいがかんうたからの玉<sup>たま</sup>をもらいました。あるひ、よくばりばあが、おじいさんをだまして玉をとりかえてしまいました。ねこといぬは、おじいさんのためにたからの玉をとりかえそうと、よくばりばあいのいえにおかいました。

## 『ねこのおうさま』

ポール・ガルドン／再話と絵  
石津 ちひろ／訳  
好学社(2025年)



おばあさんは、くろねこのトムといっしょに、おじいさんがしごとからかえてくるのをまっています。かえてきたおじいさんは、「トム・ティムドラムは、どこのどいつだ!？」と、らんぼうにいいました。おじいさんは、しんじられないものをみたようです。

## 『ぼくはせかいいちしあわせなねこ』

つがね ちかこ／作  
赤ちゃんとママ社  
(2024年)



ねこのターは、ほごねこしせつにいました。ほごねこしせつは、おうちのないねこが、あんしんしてくらせるように、みんなでごはんやねるばしょのおせわをしてあげるところです。ターは、そこからさやちゃんのおうちにきて、さやちゃんちのねこになりました。

## 『たびネコさん ぐるりヨーロッパ街歩き』

ケイト・バンクス／文  
ローレン・カスティエーヨ／絵  
住吉 千夏子／訳  
きじとら出版(2016年)



ネコさんはヨーロッパじゅうをたびしているよ。まずはイタリアからしゅっぱつして、いしのいせきをおさんぽ。つぎはフランスへやってきて、ふんすいでみづくろい。つぎはどこくにいくのかな？ネコさんといっしょに、いろんなくにをたびしてみよう。

